

経営比較分析表（平成29年度決算）

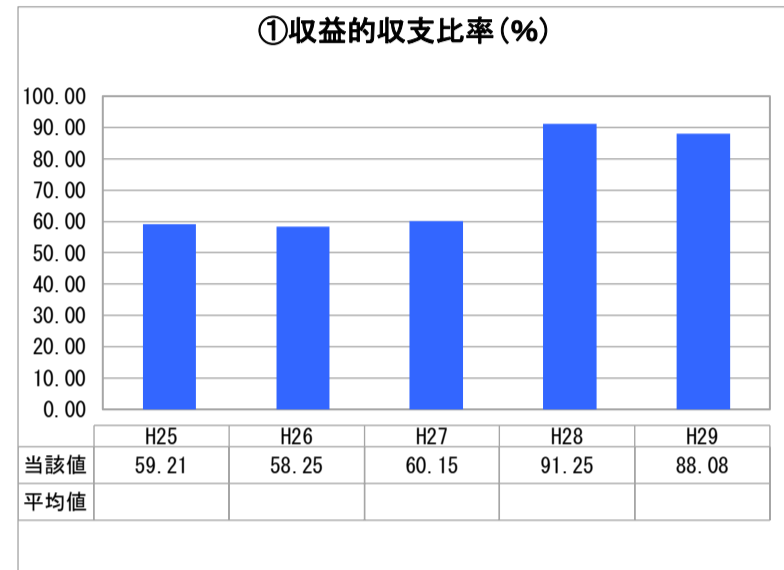
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	38.52	92.19	2,484

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,779	94.43	198.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,188	1.65	4,356.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



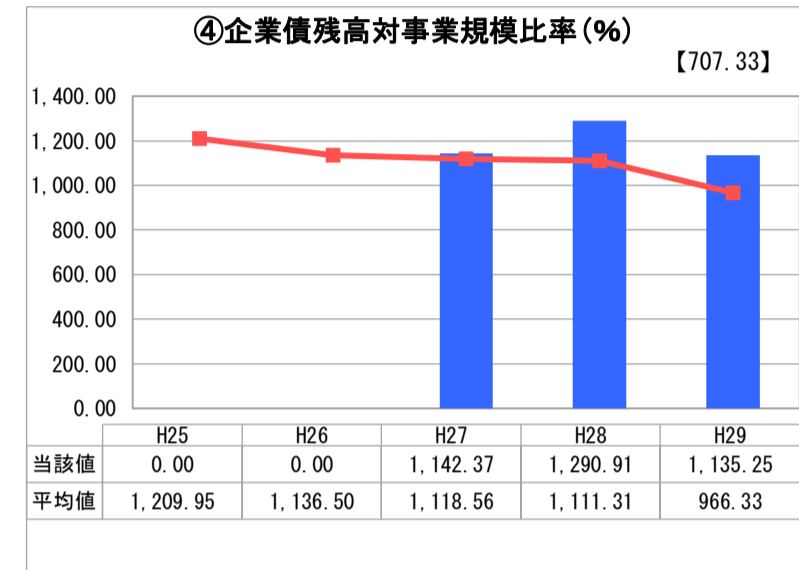
「単年度の収支」



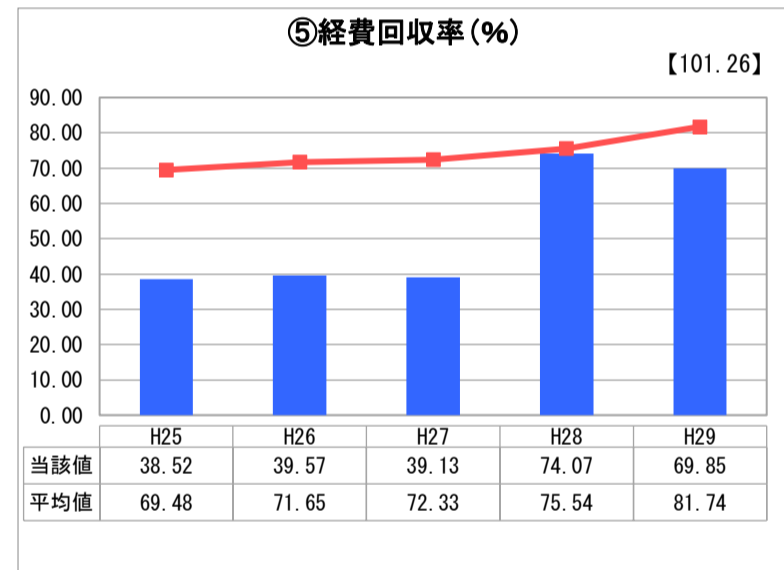
「累積欠損」



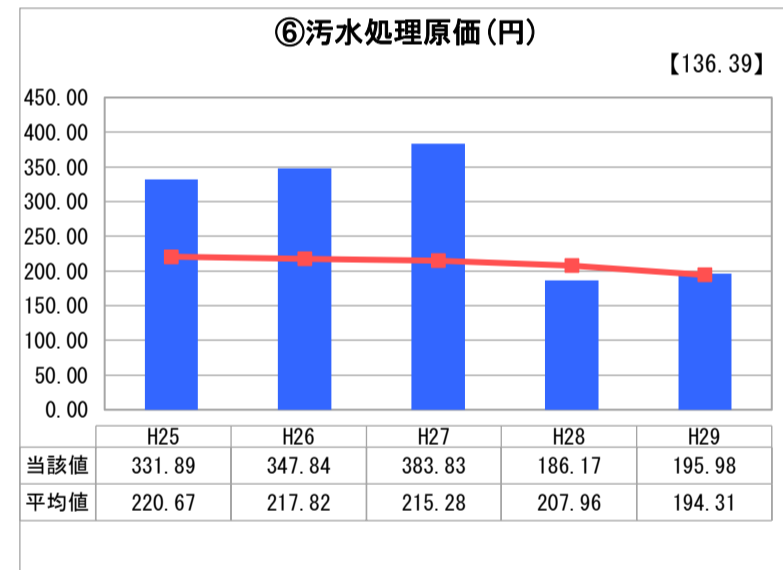
「支払能力」



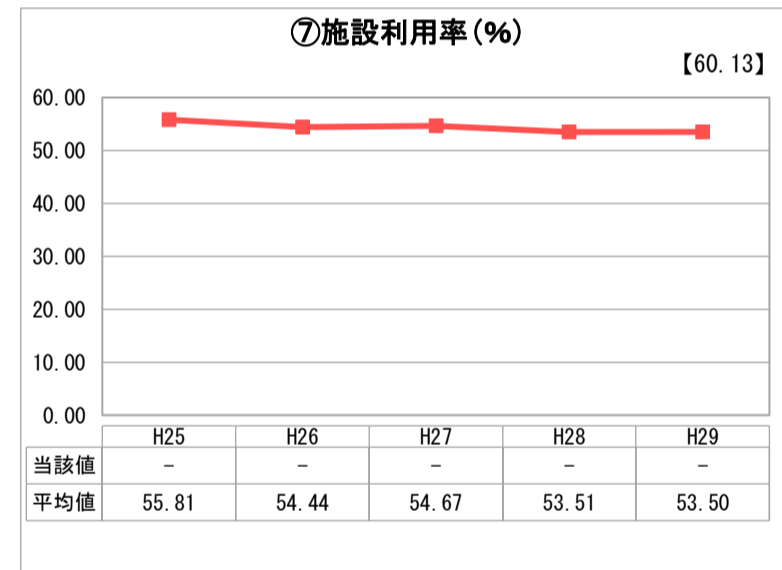
「債務残高」



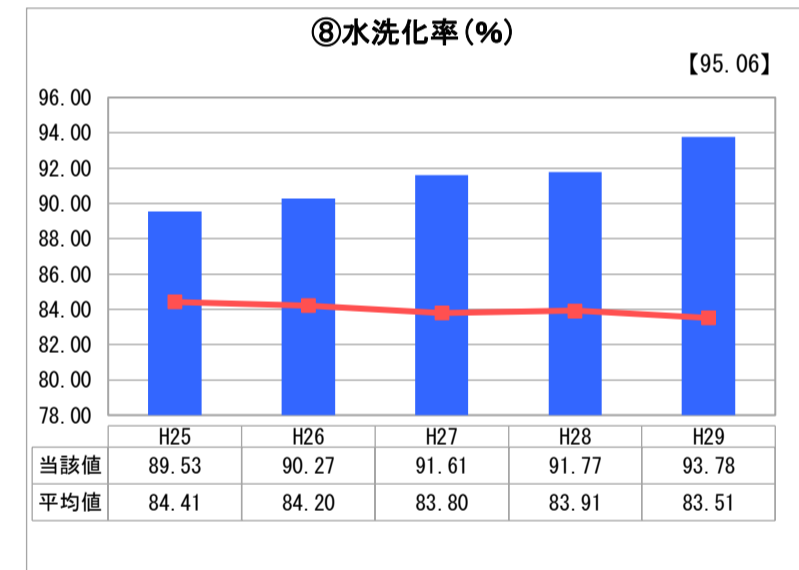
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

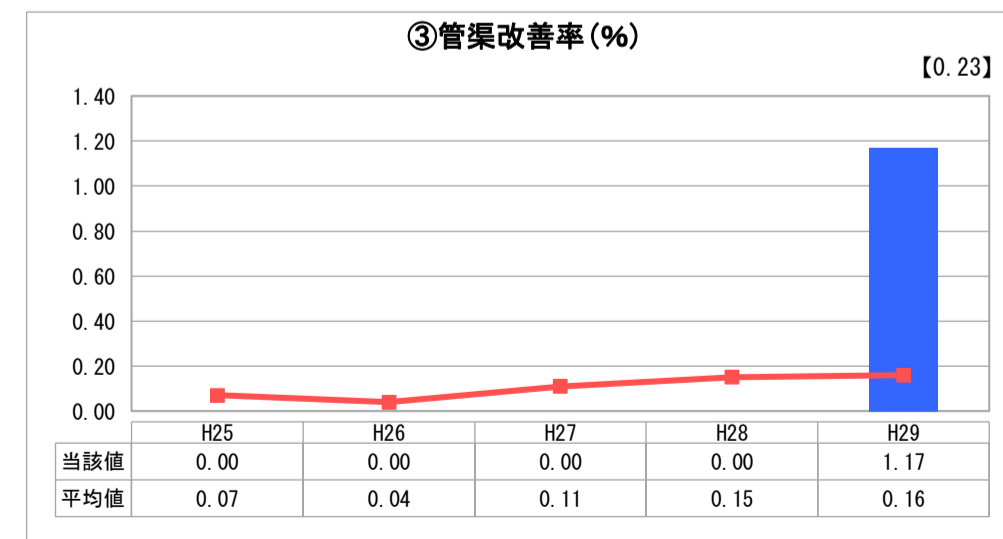
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%未満であり、資本費のほぼ全てを一般会計繰入金に依存している状況であるため、使用料収入による財源確保等の経営改善に向けた取組が必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っている。今後、企業債残高は減少していく見込みであるが、将来の施設更新を見据え、料金水準の適正化検討が必要である。

⑤経費回収率は、料金収入額は増加したものの、計画策定経費の増により低下している。依然、100%を下回る状況であり、料金改定や汚水処理費の抑制が必要である。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均と同程度ではあるが、効率化による維持管理費の更なる削減に努めていく必要がある。

⑦施設利用率は、当町においては、五領川公共下水道事務組合に汚水処理を委託しており、終末処理場がないため該当しない。

⑧水洗化率は、住宅新築・改築需要の増により微増傾向にある。今後も100%を目指し、接続の推進に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当町の公共下水道事業は、平成7年4月より供用を開始し、経過年数は23年である。現状では、管渠の更新・老朽化対策を実施する必要はないが、ポンプ施設については施設更新の実施が必要となる。

今後は、ストックマネジメント計画を基に、中長期的な経営計画を策定した上で、定期的な点検を行いながら施設の長寿命化を図り、更新を行っていく予定である。

全体総括

当町の公共下水道事業は、独自の処理場を持たず、中継ポンプ場から五領川浄化センターに圧送し処理することで事業費の抑制を図ったところである。

しかしながら、資本費のほぼ全てを一般会計からの繰入金に依存している状況であり、今後の経営健全化のためには、維持管理費の更なる削減に努めるとともに、料金の見直しによる収益の確保を行うことも必要であると考えます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。